

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」名西校		
○保護者評価実施期間	2024年12月1日		～ 2024年12月21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	52名	(回答者数) 50名
○従業者評価実施期間	2024年12月9日		～ 2024年12月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援のため、1人1人に合ったプログラムで支援を行っています。	支援後の報告でお子様のできるようになったこと、課題や情報の共有をおこなっています。	今後は進路相談にものれるように、事業所内で情報を集めていきたいと思います。
2	学習面への支援が多いですが、子供の理解にあわせて支援をすすめています。	取り組みやすく教材・課題を工夫しています。	職員研修を充実させて、より支援の質を向上させていきたいと思っています。
3	職員の入れ替わりが少ないので、あまり子供に負担をかけずに支援を提供できる。	職員研修に参加したり、職員同士で向上できる雰囲気はあります。	今後もし迷惑をかけることのないように、研修などを充実させていきたいと思っています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	完全に個室というわけではないので、隣の部屋の声が聞こえてしまう。	部屋の設計上の問題があります。	部屋に余裕のある時は、使用する部屋を考えながら取り組んでいます。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	こどもサポート教室「きらり」名西校
------	-------------------

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数

52名

回収数

50

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	49	1			勉強するのに集中しやすい広さだと思います。	ひきつづき、スペースを確保しながら運営してまいります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	50					ひきつづき、職員を十分に確保しながら運営してまいります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	47	1		2	子供が走り回っても危険に感じるものはないです。	ひきつづき、安全に配慮しながら運営してまいります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	50					室内環境に配慮しながら運営してまいります。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	50				子供が苦手とする分野を集中して教えていただけていると思います。	一人一人にあったプログラムをたてて、支援に取り組んでまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	48			2		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	50					一人一人にあった計画で、支援に取り組んでまいります。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	47	1		2		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	50					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	47	2		1	数学（算数）・国語を1回の中で実施してもらえて助かっています。	
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	7	21	16	交流などはとくにないですが、個別活動なので仕方ないお思います。	機会がありましたら、検討させていただきます。
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	50					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	50					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14	12	6	18	入口にパンフレットが置いてあるので、時間のある時は見せていただいています。	機会がありましたら、検討させていただきます。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	49	1			進路相談にものっていただいとでも助かります。	今後も毎回短い時間ではありますが、お話する機会を設けさせていただきます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	46	4				
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	50					
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	11	15	19		機会がありましたら、検討させていただきます。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	45	2	1	2	学校のことで悩んでいるときに、相談できて助かりました。	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	50					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	25	9	0	16		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	50					ひきつづき、個人情報の取り扱いには十分留意してまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	30	7		13		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	20	12		18		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	35	1		14		事業所内での安全については計画を策定しており、安全を確保したうえで支援を行っています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	30	6		14		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	49	1			楽しみにしています。	ひきつづき、安心に利用していただけるように努力してまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	47	3			活動後も子供と関わっていただいております。	ひきつづき、楽しく利用していただけるように努力してまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	50				他校の子供や同年代くらいの子供とかわれる機会になればと思っています。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」名西校		公表日		2025年 2月 15日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		適切にスペース確保しております。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		適切に職員を配置しております。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○			外階段につきましては、建物の構造上の問題になります。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		ひきつづき、清潔に保って運営してまいります。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個室で支援を受けられるようにしております。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		職員参加のミーティングを実施しております。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		今後も実施してまいります。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員参加のミーティングを実施しております。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		今後検討させていただきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		職員の経験年数による社内研修に参加しております。		
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		計画更新ごとにおこなっています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		計画更新ごとに支援する職員参加の会議を行っています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画に沿って、支援をすすめています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		アセスメントツールを使用しております。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインに沿って、支援内容を設定しております。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		複数の職員でプログラムを考えています。		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		固定したほうがよい時と変化させたほうがよい時を見極めながら取り組んでいます。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			現状、集団活動は実施できておりませんが、個別支援のみになります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		職員参加のミーティングを実施しております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		職員参加のミーティングを実施しております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		記録は、毎回残しております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的に行っております。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		ガイドラインに沿って、支援内容を設定しております。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		選択できるような課題も織り交ぜながら、支援をすすめています。		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		担当職員と管理者で参加しております。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて連携をとれるようにしております。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			保護者を通して情報を得る機会が多いです。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			必要に応じて、情報共有に取り組んでまいります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			必要に応じて、情報共有に取り組んでまいります。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			必要に応じて、連携に取り組んでまいります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			児童クラブや児童館との交流は、機会がありましたら検討させていただきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			参加できる時には参加しております。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		毎回、支援後に短時間ですが話をする機会を設けております。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			家族支援に関しては、今後検討させていただきます。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		利用契約時に説明しております。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		毎回、支援後に話す機会がありますので、その際に現在の様子をお聞きして、次回の支援につなげております。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		計画の説明はさせていただいております。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		必要に応じて、実施しております。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		今後検討させていただきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情については迅速かつ適切な対応を心がけております。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		○		現状も行っておりますが、より力をいれて取り組んでまいります。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		取扱いには、注意しております。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		配慮いたしております。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		今後検討させていただきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		ひきつづき、周知して運営してまいります。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		月に1度は実施しております。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		服薬、てんかんに発作に関しては、把握しております。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○		食べ物の提供は行っておりません。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全に配慮して、運営してまいります。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		ひきつづき、周知して運営してまいります。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		共有、検討する機会を設けております。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		マニュアルを作成し、研修機会も設けております。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束が必要な場合は、きちんとした手順通りに進めさせていただきます。		